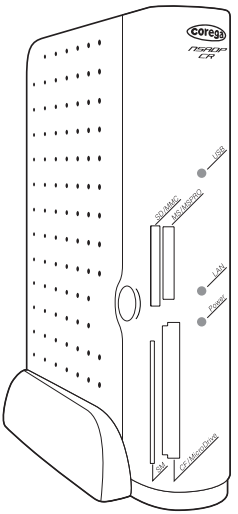
corega

CG-NSADPCR

取扱説明書



PN Y613-04312-00 Rev.A

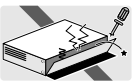
安全のために

必ずお守りください

警告

下記の注意事項を守らないと火災・感電により、死亡や大けがの原因となります。

分解や改造をしない
本製品は、取扱説明書に記載のない分解や改造はしないでください。火災や感電、けがの原因となります。


分解禁止

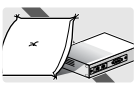
雷のときはケーブル類・機器類にさわらない
感電の原因となります。

雷のときはさわらない

異物は入れない
水は禁物
火災や感電の恐れがあります。水や異物を入れないように注意してください。

異物厳禁

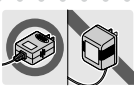
通風口はふさがない
水は禁物
内部に熱がこもり、火災の原因となります。


ふさがない

湿気や誇りの多いところ、油煙や湯気のあたる場所には置かない
火災や感電の原因となります。

設置場所注意

必ず専用アダプターをお使いください。
専用アダプター以外のアダプターを使うと火災や感電の原因になります。


専用以外は使わない

ご使用にあたってのお願い

取り扱いはていねいに
落としたり、ぶつけたり、強いショックを与えないでください。

次のような場所での使用や保管はしないでください
- 直射日光の当たる場所
- 暖房器具の近くなどの高温になる場所
- 急激な温度変化のある場所（結露するような場所）
- 湿気の多い場所や、水などの液体がかかる場所（製品仕様に記載されている環境でご使用ください）
- 振動の激しい場所
- ほこりの多い場所や、ジュータンを敷いた場所（静電気障害の原因になります）
- 腐食性ガスの発生する場所

お手入れについて

機器は、乾いた柔らかい布で拭く
汚れがひどい場合は、柔らかい布に薄めた台所用洗剤（中性）をしみこませ、堅く絞ったものでふき、乾いた柔らかい布で仕上げてください。

お手入れには次のものは使わないでください
石油・みがき粉・シンナー・ベンジン・ワックス・熱湯・粉せっけん（化学ぞうきんをご使用のときは、その注意書に従ってください）

●本製品は一般使用を目的とした製品です

本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など人命に関わる設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や設計、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。

●日本国内でご使用ください

本製品は日本国内仕様となっておりますので、本製品を日本国外で使用された場合、弊社ではいかなる責任も負いかねます。

はじめに

このたびは、「CG-NSADPCR」をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。本書は、本製品を正しくご利用いただくための手引きです。必要なときにいつでもご覧いただけるように、大切に保管してください。また、本製品に関する最新情報（ソフトウェアのバージョンアップ情報など）は、弊社のホームページでお知らせしておりますのでご覧ください。

http://www.corega.co.jp/

本書の読み方

●記号について

本書で使用している記号や表記には、次のような意味があります。

	操作中に気をつけていただきたい内容です。必ずお読みください。		補足事項や参考となる情報を説明しています。

●表記について

本製品	CG-NSADPCR のことです。
「 」－「 」－「 」	「 」で囲まれた項目を順番に選択することを示します。
[ ]	[ ] で囲んである文字は、画面上のボタンを表します。 例：OK → [OK]
LAN ケーブル	本書では、UTP ケーブル（アンシールド･ツイストペア･ケーブル）のことを指します。本製品の接続には UTP ケーブルを使用してください。
Windows XP	Microsoft® Windows® XP Professional operating system 日本語版および Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system 日本語版のことです。
Windows 2000	Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system 日本語版のことです。
Windows Me	Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system 日本語版のことです。
Windows 98SE	Microsoft® Windows® 98 Second Edition operating system 日本語版のことです。

※本書では、複数の OS を「Windows XP/2000」のように併記する場合があります。

●イラスト / 画面について

本文中に記載のイラストや画面は、実際と多少異なることがあります。

作業の流れ

本書では、本製品を使ってネットワークに接続できるようになるまでの作業を、PARTに分けて説明しています。各PARTでの作業は次のとおりです。順番に読んで、作業を進めてください。

PART 1

● CG-NSADPCR のご紹介

① 本製品の特徴や接続例のご紹介です。
② 同梱品の一覧と、本製品の各部の名称と機能を確認します。

PART 2

● CG-NSADPCR とパソコンを接続する

① 本製品の設定ユーティリティーに接続します。使用するOSに対応した箇所を読んでください。
② 本製品と設定用パソコンを接続して、本製品のIPアドレスの設定を行います。

PART 3

● CG-NSADPCR を使用する

① 本製品にUSB機器を接続します。
② 本製品をネットワークに接続します。
③ 本製品に接続したUSB機器にアクセスします。
④ 本製品のメモリーカードスロットを使用します。

PART3までの作業が終われば、本製品をネットワークに接続して使用できるようになります。PART4以降は、必要に応じて読んでください。

PART 4

●設定ユーティリティーの詳細

本製品の設定ユーティリティーの詳しい説明が記載されています。本製品の高度な設定が可能です。

PART 5

●トラブルシューティング

PART3までの作業で接続ができなかった場合や、本製品の操作でわからないことがあった場合には、このPARTを読んで解決方法を探してください。

目　次

はじめに 1
本書の読み方 1
作業の流れ 2
使用上の注意 4

PART1 CG-NSADPCRのご紹介 5
本製品の特徴 5
　本製品のネットワーク接続例 5
同梱品一覧 6
各部の名称と機能 7
　スタンドの取り付け方法 10

PART2 CG-NSADPCRとパソコンを接続する 11
IPアドレス変更の準備 11
　接続に必要な環境 11
IPアドレスの変更 12
　本製品と設定用パソコンを接続する 12
　本製品と通信するための確認 12
　設定アイコンにアクセスする 13
　IPアドレスを設定する 16
　ネットワーク接続後に設定ユーティリティーにアクセスするには 18

PART3 CG-NSADPCRを使用する 19
本製品にUSB機器を接続する 19
ネットワークに接続する 20
接続したUSB機器にアクセスする 22
メモリーカードスロットを使う 25
メモリーカードのバックアップをとる 26

PART4 設定ユーティリティーの詳細 27
システム情報 27
設定変更 28

メンテナンス 29
初期化 29
ファームウェアアップグレード 30

PART5 トラブルシューティング 31

解決のステップ 31
取扱説明書を再確認する。管理者に確認する 31
Q&A 32
設定関連 32
設定アイコンが表示されない 32
設定ユーティリティーにアクセスできない 34
設定ユーティリティーで使用できる文字数 / 種類が知りたい 34
接続関連 34
本製品に接続したUSB 機器にアクセスできない 34
本製品に対応するUSB 機器が知りたい 34
本製品に接続したUSB 機器のアクセス権を変更したい 35
USB 機器を取りはずしたい 35
FTP で接続できない 35
メモリーカード関連 36
複数のメモリーカードを同時に使用したい 36
バックアップするデータの保存先を変更したい 36
バックアップの保存先に知らない名称のフォルダがある 37
メモリースティック PRO や miniSD カードには対応していますか？ 38
その他 38
日付と時刻を合わせたい 38
ファームウェアの更新に失敗した 38
本製品を工場出荷時の状態に戻したい 38
CG-NSADPCR 製品仕様 39
CG-NSADPCR 出荷時設定 40

保証と修理について 40
おことわり 41

■使用上の注意

・本製品に接続したUSB機器の動作中に、本製品の電源およびUSB機器の電源を切ったり、接続を切ったりしないでください。データの破壊や故障の原因となります。USB 周辺機器の安全な取りはずし方は、本書のPART5「Q&A」「USB機器を取りはずしたい」（P.35）をご覧ください。

・本製品に接続したUSB機器内のデータは、いかなる原因でもデータの保証はいたしません。あらかじめご了承ください。

PART 1

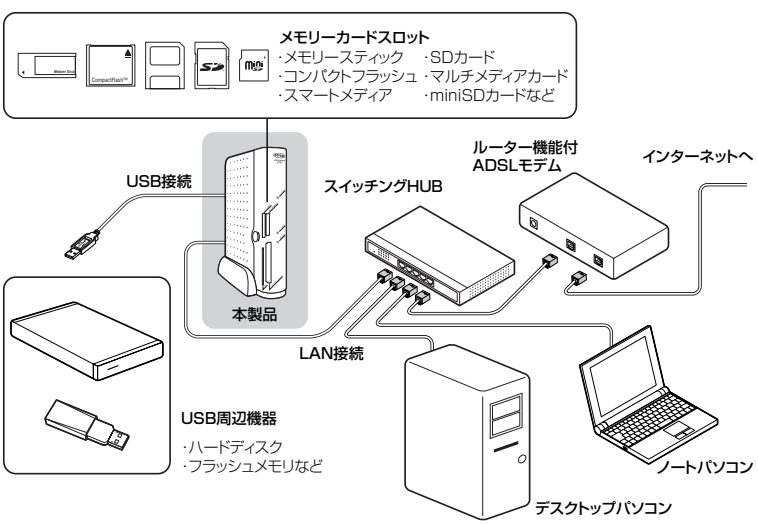
CG-NSADPCRのご紹介

本製品の特徴

本製品は、USB 周辺機器（ハードディスク、フラッシュメモリなど）をネットワークで簡単に共有可能にするための装置です。お手持ちのUSB周辺機器がそのまま共有可能になりますので、パソコンをネットワークで使用されているお客様に最適です。また、デジタルカメラなどで使われているコンパクトフラッシュ、マイクロドライブ、スマートメディア、SD カード、miniSD カード、マルチメディアカード、メモリースティック（Duo、PRO 含む）などに対応したスロットを前面に備え、これらメディアの共有やバックアップを簡単に行うことができます。

メモ　メモリースティック Duo、miniSD カードをご使用になるには変換アダプタが必要です。

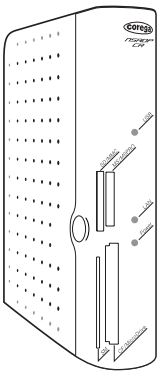
■本製品のネットワーク接続例



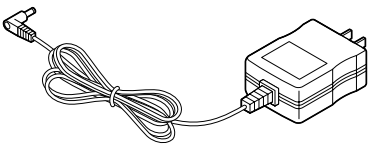
注意　上記の図は一例です。実際にネットワークに本製品を接続する場合、図とは異なる場合があります。

同梱品一覧

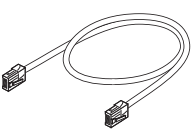
本製品をご使用になる前に、以下のものが同梱されていることを確認してください。万が一、欠品・不良品などがございましたら、お買い上げいただいたご購入元までご連絡ください。



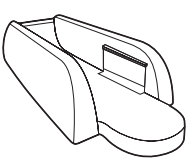
□ CG-NSADPCR　本体



□ AC アダプター



□ LAN ケーブル



□ スタンド

□ 取扱説明書（本書）

□ 製品保証書

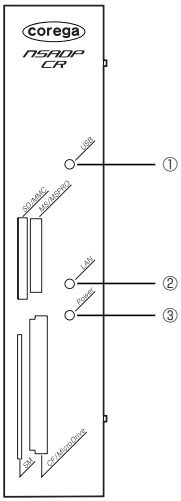
各部の名称と機能

■前面

①USB LED（緑 / 赤）
本体背面の USB ポートの状態が表示されます。
点滅（緑）：接続したUSB機器を認識中の状態です。
点灯（緑）：USB機器が使用できる状態です。
点滅（赤）：点滅中はUSB機器を取り外す処理をしています。
点滅後に消灯すると、USB機器を安全に取り外せます。
点灯（赤）：接続したUSB機器を認識できない状態です。
消灯 ：USB 機器が接続されていない状態です。

②LAN LED（緑）
本体背面の LAN ポートの状態が表示されます。
点灯 ：接続先の機器と、リンクが確立されている状態です。
点滅 ：接続先の機器とデータ通信中です。
消灯 ：接続先の機器と、リンクが確立されていない状態です。

③Power LED（緑）
本製品の電源が入っているときに点灯します。

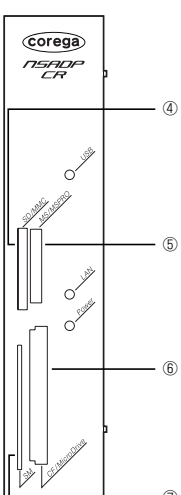


④SD カード / マルチメディアカードスロット
SD カード、マルチメディアカード（MMC）を接続するためのスロットです。SD カード、マルチメディアカード、miniSD カード（アダプタ装着時）に対応しています。

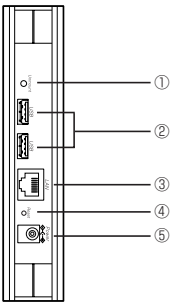
⑤メモリースティックスロット
メモリースティックを接続するためのスロットです。メモリースティックとメモリースティックDuo（アダプタ装着時）、メモリースティックPRO に対応しています。

⑥コンパクトフラッシュ / マイクロドライブスロット
コンパクトフラッシュを接続するためのスロットです。タイプⅠとタイプⅡのコンパクトフラッシュと、マイクロドライブに対応しています。

⑦スマートメディアスロット
スマートメディアを接続するためのスロットです。



■背面



①Unmount スイッチ

USB 周辺機器を取り外す時に、このスイッチを押します。USB 周辺機器の取りはずし方は、PART5 の「Q&A」「USB 機器を取りはずしたい」（P.35）をご覧ください。

②USB ポート

USB 周辺機器を接続するためのポートです。USB2.0/1.1 に対応しています。

③LAN ポート

パソコンやスイッチングHUBを接続するためのポートです。100Mbps/10Mbpsの切り替えは、オートネゴシエーション機能によって自動的に行われます。（100Mbps/10Mbps が切り替わっても、LED の表示は変わりません。）

④Reset スイッチ

本製品の設定内容を工場出荷時の状態に戻す場合に使用します。操作方法については、PART4 の「メンテナンス」「初期化〈Reset スイッチを使う〉」（P.30）をご覧ください。Resetスイッチを使用して工場出荷時の状態に戻すと設定内容が失われますので操作方法をよくお読みになって使用してください。

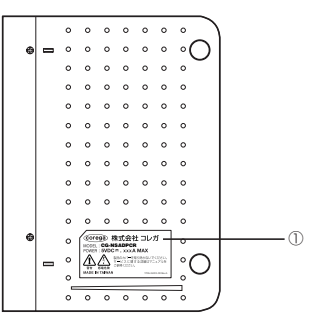
⑤DC ジャック

添付の専用 AC アダプターを接続するためのコネクターです。

■右面

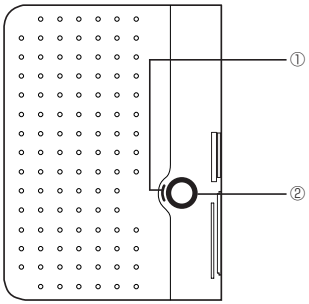
①警告ラベル

本製品を安全にご使用いただくための重要な情報が記載されておりますので、必ずお読みください。



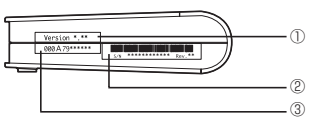
■左面

①メモリーカードLED（緑/橙）
　点灯（緑）：メモリーカードスロット（前面④～⑦）に
　　メモリーカードを挿すと点灯します。
　点灯（橙）：バックアップ中に点灯します。
②バックアップボタン
　このボタンを押すと、メモリーカードスロットに装着したメモリーカードの中のデータを、本製品のUSBポートに接続した記憶装置にバックアップします。



■底面

①ファームウェアラベル
　本製品のファームウェアのバージョンが記載されています。
②シリアル番号シール
　本製品のシリアル番号とリビジョンが記載されています。シリアル番号とリビジョンは、ユーザーサポートへの問い合わせの際に必要となります。
③MACアドレスラベル
　本製品のMACアドレスが記載されています。

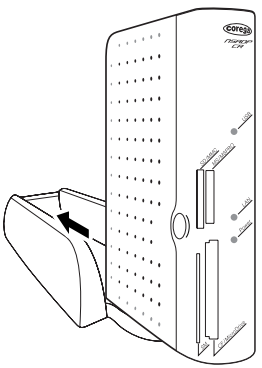


■スタンドの取り付け方法

本製品に付属のスタンドを使用して、本製品を縦置きに設置することができます。

〈スタンドを取り付けるとき〉

スタンドの向きを下図のようにして、本製品のミゾにスタンドのツメがはまるまで差し込みます。



〈スタンドを取り外すとき〉

本製品を、取り付けるときとは反対方向に、スタンドの背面から前面にスライドさせて取りはずします。

PART 2

CG-NSADPCRとパソコンを接続する

本製品はP.5のネットワーク接続例のように、接続すれば簡単にネットワークで共有してご使用になれますが、お使いのネットワークの環境によっては、最初に本製品のIPアドレスの設定を変更する必要があります。このPARTでは、本製品を設定する場合に必要な手順をご紹介します。IPアドレスの設定を変更する必要がない場合は、「PART3 CG-NSADPCRを使用する」（P.19）をご覧ください。また、

メモ

- 本製品のIPアドレスの初期設定値につきましては、「CG-NSADPCR出荷時設定」（P.40）をご覧ください。
- ネットワーク接続後、本製品へ接続したUSB周辺機器へのアクセス方法は、お使いのOSのバージョンにより異なります。各OSごとのアクセス手順は、「PART3 CG-NSADPCRを使用する」「接続したUSB機器にアクセスする」（P.22）をご覧ください。

IPアドレス変更の準備

■接続に必要な環境

設定に使用するパソコンは、以下の条件を満たしている必要があります。

- LANポートを装備している。
- TCP/IPが組み込まれている。
- Windows XP/2000/Me/98SEのいずれかのOSを搭載している。
- Internet Explorer（バージョン6.0以降）をインストールしている。

メモ

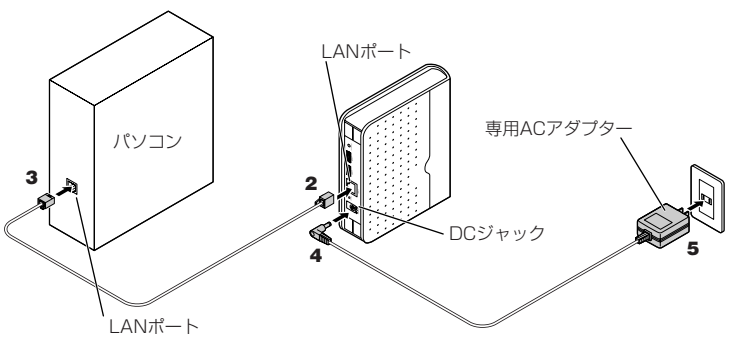
TCP/IPは、特別な理由で削除していない限り、標準で組み込まれています。

IPアドレスの変更

■本製品と設定用パソコンを接続する

以下の手順で、本製品と設定用パソコンをLAN ケーブルで接続します。

1 本製品と設定用パソコンの電源をすべて切るか、電源コンセントから抜いてください。
2 本製品のLAN ポートに添付のLAN ケーブルを接続します。
3 LAN ケーブルのもう一方をパソコンのLAN ポートに接続します。
4 本製品のDC ジャックに専用AC アダプターを接続します。
5 本製品のAC アダプターをコンセントに接続し、本製品の電源を入れます。
本製品のPower LED とLAN LED が点灯します。
6 パソコンの電源を入れます。



以上で本製品とパソコンの接続が完了しました。続いて、本製品の設定をします。

■本製品と通信するための確認

本製品と通信を行うためには、パソコンの設定が次の項目を満たしているかどうか、確認してから作業を開始してください。

・パソコンの「TCP/IP」が自動取得になっている。
・パソコンのワークグループ名が「workgroup」になっている。

注意 次のページの「設定アイコンにアクセスする」で設定アイコンにアクセスできない場合は、PART5 の「Q&A」「設定アイコンが表示されない」（P.32）をご覧ください。

■設定アイコンにアクセスする

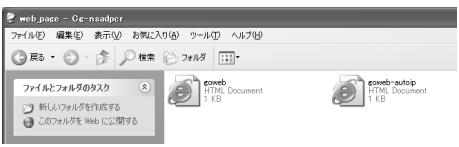
はじめに設定アイコンへのアクセスを行います。Windows XP/2000/Me/98SEの各OSによって手順が異なりますので、各OSに合わせた操作を行ってください。

● Windows XPの場合

1 「スタート」－「マイ ネットワーク」をクリックします。

2 「ローカル ネットワーク」の「web_page - Cg-nsadpcr」をダブルクリックします。

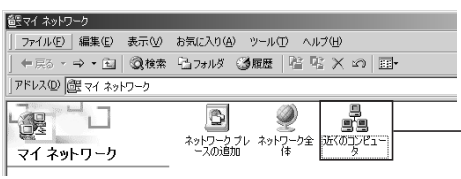
3 設定アイコンが表示されます。



● Windows 2000の場合

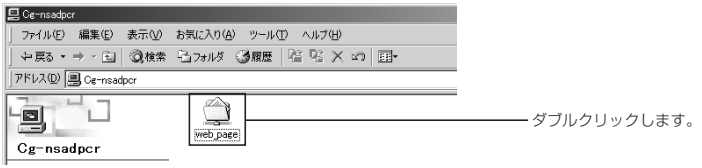
1 デスクトップの「マイ ネットワーク」をダブルクリックします。

2 「近くのコンピュータ」をダブルクリックします。



3 「Cg-nsadpcr」をダブルクリックします。

4 「web_page」をダブルクリックします。

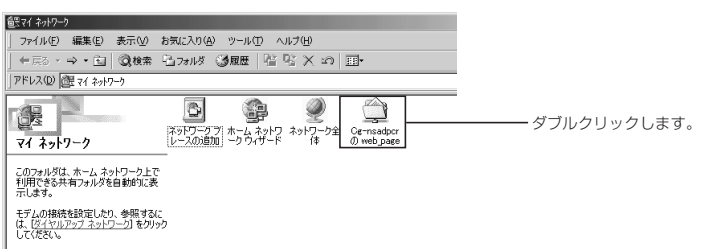


5 設定アイコンが表示されます。

● Windows Me の場合

1 デスクトップの「マイ ネットワーク」をダブルクリックします。

2 「Cg-nsadpcr の web_page」をダブルクリックします。



3 設定アイコンが表示されます。

● Windows 98SEの場合

1 デスクトップの「ネットワーク コンピュータ」をダブルクリックします。

2 「Cg-nsadpcr」をダブルクリックします。

3 「web_page」をダブルクリックします。

4 設定アイコンが表示されます。

以上で準備ができました。IPアドレスの設定方法につきましては、次ページの「IPアドレスを設定する」をご覧ください。

注意 設定アイコンにアクセスできない場合は、「PART5 トラブルシューティング」（P.31）をご覧ください。

■IPアドレスを設定する

本製品の設定はWebブラウザーで行います。Web ブラウザーにはInternet Explorer 6.0以降をご利用ください。これ以外のWebブラウザーでは設定が正常に行われない可能性があります。また、手順では画面の例としてWindows XPを使用しておりますが、Windows 2000/Me/98SEについても同様の手順となりますのでご注意ください。

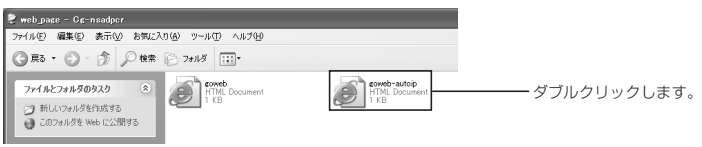
注意

- 設定用パソコンでウイルス駆除ソフト、ファイアーウォールソフトなどのセキュリティーソフトが稼働していると、本製品の設定に失敗することがあります。一時的にセキュリティーソフトを停止させて本製品の設定を行い、設定作業が終了してから再度稼働させてください。セキュリティーソフトの停止、稼働の方法は、セキュリティーソフトの取扱説明書をご覧ください。
- Webブラウザーでの設定時には、設定ページを素早く切り替えないでください。素早いクリックによるページの切り替えは、誤作動の原因となります。充分な時間間隔を置いてマウスをクリックし、設定操作を確実に行ってください。
- 設定ユーティリティーにアクセスできない場合は、「PART5 トラブルシューティング」（P.31）をご覧ください。

メモ

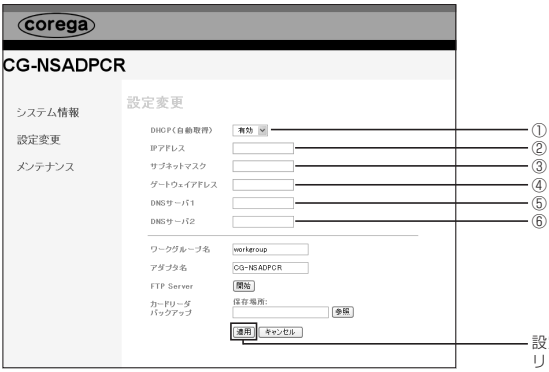
設定ユーティリティーの各設定項目については、「PART4 設定ユーティリティーの詳細」（P.27）をご覧ください。

1 設定アイコンの「goweb-autoip」をダブルクリックします。



2 Webブラウザーが起動し、設定ユーティリティーが表示されますので、設定ユーティリティーの「設定変更」をクリックします。

3 「設定変更」画面で以下の項目を設定し、終了したら［適用］をクリックして設定を反映させます。



項　目	内　容
①DHCP（自動取得）	本製品のIPアドレスを、DHCPサーバから自動的に取得するかどうかを選択します。有効の場合は自動取得、無効の場合は、②の欄に、決められたIPアドレスを直接入力します。
②IPアドレス	①で「DHCP（自動取得）」を無効にしたとき、IPアドレスを入力します。
③サブネットマスク	①で「DHCP（自動取得）」を無効にしたとき、サブネットマスクを入力します。
④ゲートウェイアドレス	①で「DHCP（自動取得）」を無効にしたとき、ゲートウェイアドレスを入力します。特に指定が内場合は空欄にしておきます。
⑤DNSサーバ1	指定されているプライマリDNSサーバのアドレスを入力します。特に指定がない場合は空欄にしておきます。
⑥DNSサーバ2	指定されているセカンダリDNSサーバのアドレスを入力します。特に指定がない場合は空欄にしておきます。

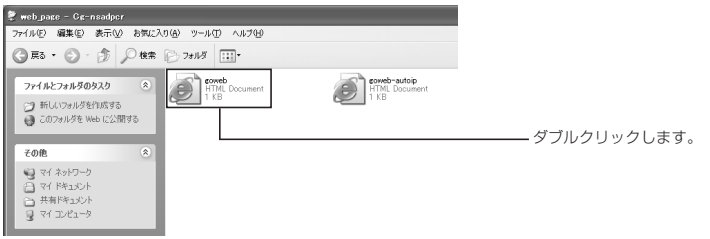
4 「設定を反映しますか？」とダイアログボックスが開くので、［OK］をクリックします。

以上で本製品のIPアドレスの設定が完了しました。次に「PART3 CG-NSADPCRを使用する」(P.19)をご覧いただき、本製品にUSB機器を接続し、ネットワークでの共有を行ってください。

■ネットワーク接続後に設定ユーティリティーにアクセスするには

ネットワークに接続した後に本製品の設定を変更する場合、はじめて本製品の設定をしたときと同じように、設定アイコンをダブルクリックするだけで、簡単に設定ユーティリティーへアクセスできます。設定アイコンへのアクセス方法は各OSによって異なりますので、各OSごとの手順はP.13～15の手順をご覧ください。また、本製品のネットワークへの接続方法は、「PART3 CG-NSADPCRを使用する」「ネットワークに接続する」（P.20）をご覧ください。

1 「goweb」をダブルクリックします。



2 設定ユーティリティーが表示されます。

注意 設定アイコンにアクセスできない場合は、「PART5 トラブルシューティング」（P.31）をご覧ください。

メモ 「goweb」と「goweb-autoip」の違いは、「goweb」は本製品に接続したパソコンががIPアドレスを取得できている場合に使用し、「goweb-autoip」はIPアドレスを取得できない場合に使用する設定アイコンです。お使いのネットワーク環境によりIPアドレスの取得方法は異なりますが、本製品の2つの設定アイコンのどちらかをダブルクリックすれば、必ず設定ユーティリティーが表示されます。

PART 3

CG-NSADPCRを使用する

ここでは、本製品にUSB機器を接続し、ネットワークにつなげるまでの手順を説明します。

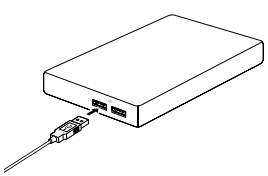
本製品にUSB機器を接続する

本製品にUSB機器を接続します。本製品に対応するUSB機器につきましては、「PART5 トラブルシューティング」（P.31）をご覧ください。

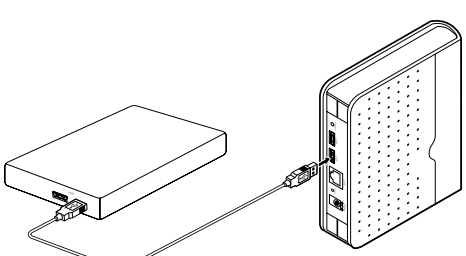
注意 USBハードディスクにセキュリティー機能（製品によって名称が異なります）が搭載されている製品がありますが、本製品はUSBハードディスクのセキュリティー機能には対応しておりません。セキュリティー機能はオフにしてご使用ください。機能をオフにする方法は、ハードディスクの取扱説明書をご覧ください。

1 本製品とUSB機器の電源をすべて切るか、電源コンセントから抜いてください。

2 USBケーブルをUSB機器のUSBポートに接続します。（USB機器によっては必要のない場合もあります。）



3 USBケーブルのもう一方を本製品のUSBポートに接続します。
まだ本製品の電源は入れないでください。

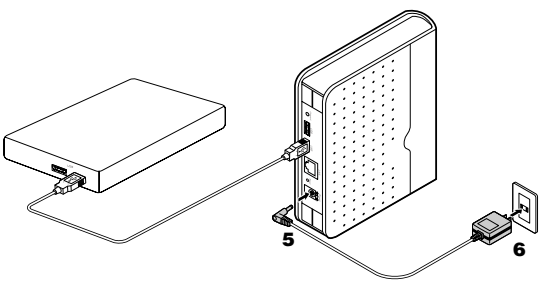


4 USB 機器の電源を入れます。

メモ

接続するUSB機器がバスパワーに対応していれば、ACアダプターなどの電源ケーブルが必要ありませんので、手順5へお進みください。機器がバスパワーに対応しているかどうかは、ご使用になりたい機器の取扱説明書をご覧ください。

5 本製品の DC ジャックに専用 AC アダプターを接続します。
6 本製品の AC アダプターをコンセントに接続し、本製品の電源を入れます。

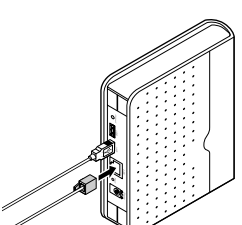


これで本製品と周辺機器の接続が完了しました。

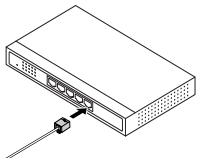
ネットワークに接続する

本製品にUSB機器を接続できたら、次にネットワークへの接続を行います。ここではP.5のネットワーク接続例を元に、ネットワークへの接続方法を解説します。

1 本製品と USB 機器の電源をすべて切るか、電源コンセントから抜いてください。
2 本製品の LAN ポートに LAN ケーブルを接続します。



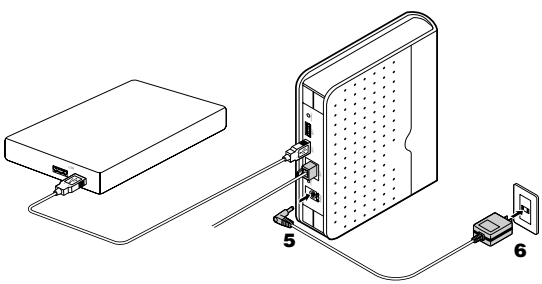
3 LAN ケーブルのもう一方をスイッチング HUB の空いている LAN ポートに接続します。



4 USB 機器の電源を入れます。

接続するUSB機器がバスパワーに対応していれば、ACアダプターなどの電源ケーブルが必要ありませんので、手順5へお進みください。機器がバスパワーに対応しているかどうかは、ご使用になりたい機器の取扱説明書をご覧ください。

5 本製品の DC ジャックに専用 AC アダプターを接続します。



6 本製品の AC アダプターをコンセントに接続し、本製品の電源を入れます。

以上でネットワークへの接続が完了しました。次ページの「接続したUSB機器にアクセスする」で、実際にネットワークでのアクセス方法を説明します。

接続したUSB機器にアクセスする

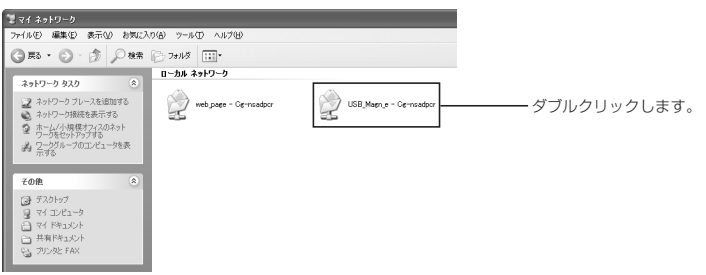
ネットワークに接続したら、本製品に接続したUSB機器にアクセスしてみましょう。ここでは、「USB_Magn_e」というネットワークドライブを例として説明します。

注意 お使いのUSB機器によって、ネットワークドライブの名前は変わります。また、ネットワークドライブの名称は変更できません。

● Windows XP の場合

1 「スタート」－「マイ ネットワーク」をクリックします。

2 「ローカル ネットワーク」の「USB_Magn_e - Cg-nsadpcr」をダブルクリックします。



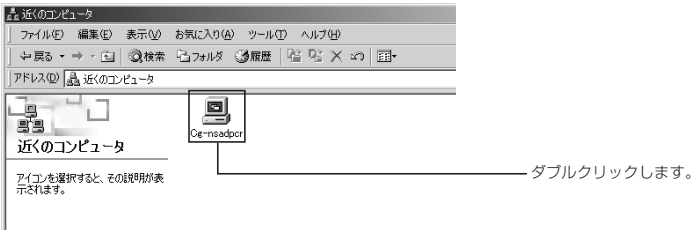
3 アクセスが完了しました。

● Windows 2000 の場合

1 デスクトップの「マイ ネットワーク」をダブルクリックします。

2 「近くのコンピュータ」をダブルクリックします。

3 「Cg-nsadpcr」をダブルクリックします。



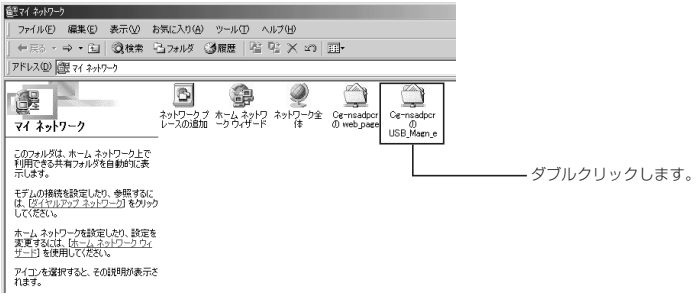
4 「USB_Magn_e」をダブルクリックします。

5 アクセスが完了しました。

● Windows Me の場合

1 デスクトップの「マイ ネットワーク」をダブルクリックします。

2 「Cg-nsadpcr の USB_Magn_e」をダブルクリックします。



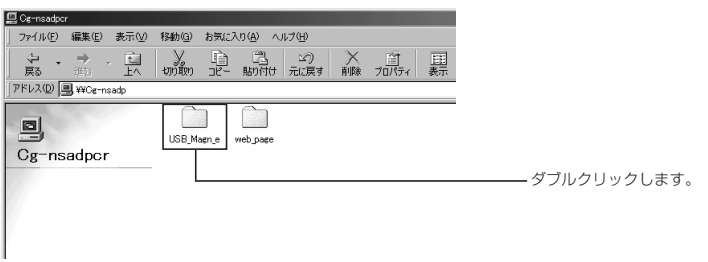
3 アクセスが完了しました。

● Windows 98SE の場合

1 デスクトップの「ネットワーク コンピュータ」をダブルクリックします。

2 「Cg-nsadpcr」をダブルクリックします。

3 「USB_Magn_e」をダブルクリックします。



4 アクセスが完了しました。

以上で接続作業はすべて完了しました。

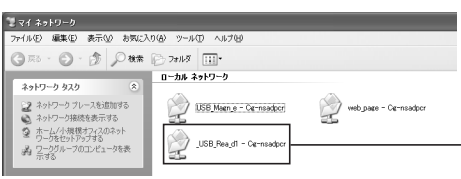
注意 ネットワークドライブへのアクセス後の内容は、お使いのUSB機器によって変わりますので、お使いの環境に当てはめて作業してください。
また、ネットワークドライブへアクセスできない場合は、「PART5 トラブルシューティング」（P.31）をご覧ください。

メモリーカードスロットを使う

ここでは本製品の前面のメモリーカードスロットを使用します。手順の例ではメモリースティックを使用しますが、他のメモリーカード（SDカード、マルチメディアカード、コンパクトフラッシュ、スマートメディアなど）を使用する場合にも同様の手順となります。

注意 メモリーカードは、対応しているメモリーカードスロットに挿してください。種類の違うメモリーカードを無理に挿すと、本製品またはメモリーカードの故障の原因となる場合があります。なお、各メモリースロットの対応メディアは、「PART1 CG-NSADPCRのご紹介」「各部の名称と機能」（P.7）をご覧ください。

1 メモリースティックを、本製品前面のメモリースティックスロットに挿します。その際、ゆるみ等がないよう、奥まで確実に挿してください。
2 前面のUSB LEDが点滅しますので、点滅が終了するまでしばらく待ちます。
3 USB LEDの点滅が終了すると、メモリースティックへのアクセスが可能になりますので、P.22～24の手順とおなじように本製品へアクセスします。
4 P.22～24の例で使用した「USB_Magn_e」の他に、「_USB_Rea_d1 - Cg-nsadpcr」という名称が増えています。この増えた名称がメモリースティックになりますので、ダブルクリックすればアクセスできます。



メモ 画面の例はWindows XPを使用していますが、Windows 2000/Me/98SEをお使いの方も同様の手順となります。

以上でメモリーカードスロットへのアクセスは完了です。

メモリーカードのバックアップをとる

本製品のUSBポートに記憶装置を接続していれば、メモリーカードのバックアップを簡単にとることができます。

本製品のUSBポートに記憶装置が接続されていない場合、バックアップを行うことはできません。

1 本製品のUSBポートに記憶装置が接続されていることを確認します。
2 手順1の確認後、本製品のバックアップボタンをメモリーカードLEDが橙色になるまで押します。
3 メモリーカードLEDが橙になったらバックアップボタンから手を放します。
4 バックアップが開始されます。
5 バックアップが完了すると、メモリーカードLEDが緑色になります。

以上でバックアップが終了しました。バックアップデータの保存先の変更や、バックアップの詳細につきましてはPART5の「Q&A」「メモリーカード関連」（P.36）をご覧ください。

メモリーカードの取り外し方につきましては、PART5の「Q&A」「USB機器を取りはずしたい」（P.35）をご覧ください。

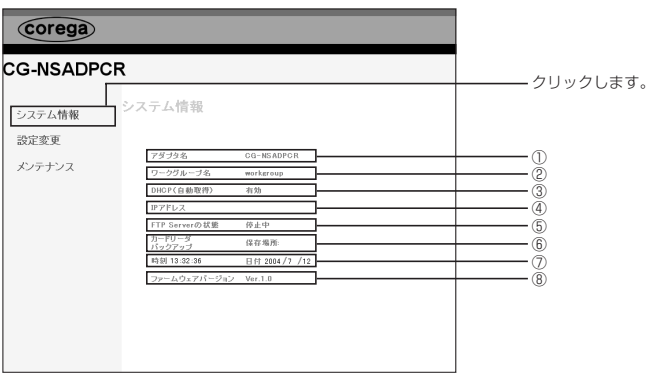
PART 4

設定ユーティリティーの詳細

ここでは、本製品の設定ユーティリティーの詳細についてご紹介いたします。

システム情報

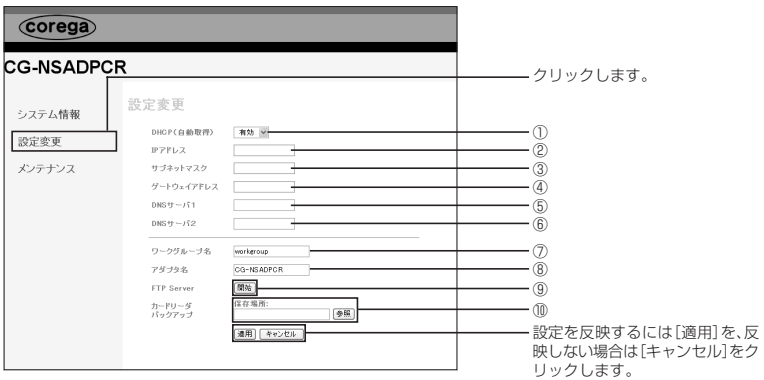
本製品の現在の状態を見ることができます。設定ユーティリティーにアクセス直後は、自動的にこの画面が表示されます。



項　目	内　容
①アダプタ名	本製品のネットワークでの名称です。
②ワークグループ名	本製品が参加するワークグループの名称です。
③ DHCP（自動取得）	本製品の IP アドレスの取得方法を表示しています。「有効」なら DHCP サーバから自動で取得、「無効」の場合は手動で IP アドレスが入力されています。
④ IP アドレス	現在の IP アドレスが表示されます。IP アドレスが取得できない場合は空欄になります。
⑤ FTP Server の状態	FTP サーバ機能の ON/OFF が確認できます。
⑥カードリーダバックアップ	バックアップボタンを使用したときの、バックアップの保存先が表示されます。
⑦時刻 / 日付	本製品の現在の時刻と日付が表示されます。
⑧ファームウェアバージョン	ファームウェアのバージョンが表示されます。

設定変更

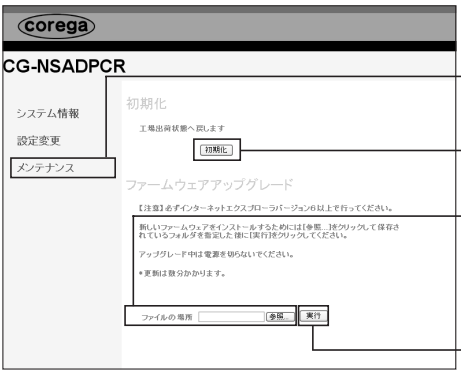
本製品の詳細な設定を行うことができます。



項　目	内　容
①DHCP（自動取得）	本製品のIPアドレスを、DHCPサーバから取得するかどうかを選択します。有効の場合は自動取得、無効の場合は、②の欄に、決められたIPアドレスを直接入力します。
②IPアドレス	①で「DHCP（自動取得）」を無効を選択したときに、IPアドレスを入力します。
③サブネットマスク	①で「DHCP（自動取得）」を無効を選択したときに、サブネットマスクを入力します。
④ゲートウェイアドレス	①で「DHCP（自動取得）」を無効を選択したときに、ゲートウェイアドレスを入力します。特に指定がない場合は空欄にしておきます。
⑤DNSサーバ1	指定されているプライマリDNSサーバのアドレスを入力します。特に指定がない場合は空欄にしておきます。
⑥DNSサーバ2	指定されているセカンダリDNSサーバのアドレスを入力します。特に指定がない場合は空欄にしておきます。
⑦ワークグループ名	本製品が参加するワークグループの名称を入力します。
⑧アダプタ名	本製品のネットワークでの名称を入力します。
⑨FTP Server	本製品のFTPサーバ機能の「開始」と「停止」を行います。
⑩カードリーダバックアップ	バックアップボタン使用時のバックアップデータの保存先を指定します。入力欄に保存先を直接入力するか、［参照］で指定します。

メンテナンス

本製品を工場出荷時の状態に戻したり、最新のファームウェアにアップグレードすることができます。



クリックします。

[初期化]をクリックすると、本製品を工場出荷状態に戻します。

ファームウェアの場所を指定します。入力欄に直接入力するか、[参照]をクリックしてファームウエアの保存先を指定します。

[実行]をクリックすると、ファームウェアのアップグレードが開始されます。

■初期化

本製品を工場出荷時の状態に戻すことができます。初期化を実行すると今まで設定していた情報がすべて無効になりますので、再度設定をし直す必要があります。また、重要な設定をしている場合は、後で再設定できるように設定を控えておくことをおすすめします。なお、2つのどちらの手順をお使いいただいても、初期化は完了します。

●設定ユーティリティーから行う

1. 初期化する前に、本製品からUSB機器を取りはずしてください。USB機器の取りはずし方は、PART5「Q&A」「USB機器を取りはずしたい」（P.35）をご覧ください。
2. 設定ユーティリティーの「メンテナンス」にある［初期化］をクリックします。
3. ダイアログボックスが開きますので、［OK］をクリックします。

クリックします。

4. 初期化がはじまります。

●Resetスイッチで行う

1 初期化する前に、本製品からUSB機器を取りはずしてください。USB機器の取りはずし方は、PART5「Q&A」「USB機器を取りはずしたい」（P.35）をご覧ください。

2 本製品の電源が入っている状態で、Resetスイッチを押し続け、LAN LEDが消灯したらResetスイッチを離します。（この時、LAN LEDはLANケーブルがつながっているときのみ消灯します。）Resetスイッチはゼムクリップなど堅くて先の細いもので押してください。

3 初期化が完了するとLAN LEDが再点灯し、本製品が起動します。

これで工場出荷時の状態に戻りました。

■ファームウェアアップグレード

本製品の機能強化のため、予告なくファームウェアのアップグレードを行うことがあります。最新のファームウェアは、コレガのホームページ(http://www.corega.co.jp/)から入手してください。

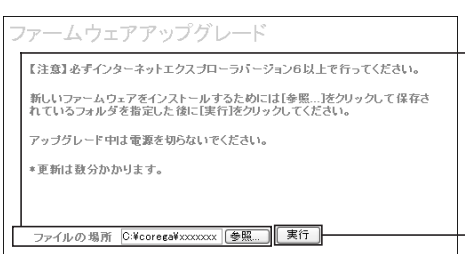
注意

・ファームウェアをアップグレードする前に、本製品の設定内容を控えてください。
・ファームウェアのアップグレード中は、他の操作を行ったり、本製品の電源を切ったりしないでください。ファームウェアのアップグレードに失敗したり、本製品の故障の原因となる場合があります。

ここでは例として「C:¥corega」（Cドライブの中のcoregaフォルダ内）に最新のファームウェアを保存した場合で説明します。

1 設定ユーティリティーの「メンテナンス」をクリックします。

2 更新ファイル欄に直接入力するか、［参照］をクリックして最新のファームウェアの保存先を選択して、［実行］をクリックします。



3 アップグレードが開始されます。

以上でファームウェアの更新は終了です。

PART
5

トラブルシューティング

本製品を使っていて「困ったな」「うまく動かない…」と思ったとき、疑問があったときは、このPARTで解決方法を探してください。

解決のステップ

1 マニュアルを再確認する。管理者に確認する。
↓
2 このPARTのQ&Aを確認する。
↓
3 コレガのホームページの情報を活用する。（アドレスはP.40か裏表紙をご覧ください。）
↓
4 それでも解決しなければ、サポート窓口に問い合わせてみる。（サポート窓口の情報は、巻末をご覧ください。）

取扱説明書を再確認する。管理者に確認する

本書以外にも、接続した相手の機器の取扱説明書、パソコンに添付の取扱説明書をお手元にご用意ください。本製品の設定が正しくても、他の設定が間違っていたり、接続した相手の機器の問題で正しく動作しないこともあります。

メモ 企業などでお使いの場合は、ネットワークの設定がオフィスによって決められていることがあります。ネットワーク管理部門などに確認してください。

Q&A

■設定関連

Q. 設定アイコンが表示されない

A. 本製品とパソコンは正しく接続されていますか？
本製品とパソコンが、LANケーブルで正しく接続されているか確認してください。本製品の電源が入っている状態で本製品のPower LEDとLAN LEDが点灯していれば正しく接続されています。

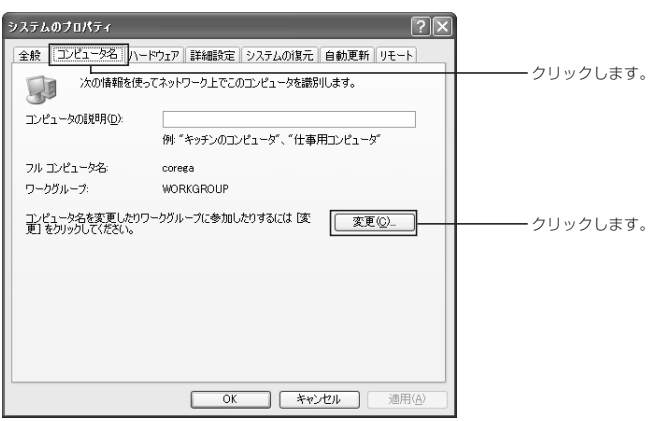
A. 本製品と同じワークグループ名を使用していますか？
工場出荷時の本製品のワークグループ名は「workgroup」が設定されています。お使いのパソコンに「workgroup」以外の名称が設定されていたら、ワークグループ名を一度「workgroup」に変更し、本製品のワークグループ名を変更してください。パソコンのワークグループ名の変更方法は次のとおりです。

● Windows XP/2000の場合

画面の例はWindows XPを使用しています。Windows 2000をお使いの方は、該当部分を（　）内の内容に変えて作業してください。

注意 Windows XPやWindows 2000では、「コンピューターの管理者」や「Administrator」、または同等の権限を持つユーザー名で設定用パソコンにログオンしてください。ユーザー権限については、OSの取扱説明書をご覧ください。

1. 「スタート」－「マイ ネットワーク」（Windows 2000では「デスクトップ」－「マイ ネットワーク」）を右クリックします。
2. 「コンピュータ名」タブ（Windows 2000では「ネットワークID」タブ）をクリックし、［変更］（Windows 2000では［プロパティ］）をクリックします。



3 「コンピュータ名の変更」でワークグループ名を入力し（Windows 2000 では「ワークグループ」にチェックを入れてワークグループ名を入力）、[OK] をクリックします。

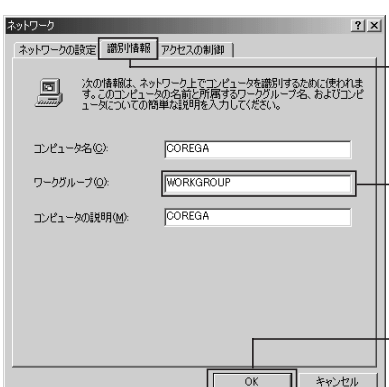
4 パソコンを再起動します。

● Windows Me/98SE の場合

画面の例はWindows Meを使用しています。Windows 98SEをお使いの方は、該当部分をカッコ内の内容に変えて作業してください。

1 「デスクトップ」－「マイ ネットワーク」（Windows 98SE では「ネットワークコンピュータ」）を右クリックします。

2 「識別情報」タブをクリックし、ワークグループ名を入力して［OK］をクリックします。



3 パソコンを再起動します。

Q. 設定ユーティリティーにアクセスできない

A. 設定用パソコンの条件は合っていますか？
「PART2 CG-NSADPCRとパソコンを接続する」「IPアドレス変更の準備」（P.11）をご覧になり、設定用パソコンの条件を確認してください。

A. プロキシサーバを使う設定になっていませんか？
Web ブラウザーでプロキシサーバを使う設定になっていると、本製品の設定ページが表示されません。Web ブラウザーの設定を、プロキシサーバを使用しない設定にしてください。

Q. 設定ユーティリティーで使用できる文字数 / 種類が知りたい

A. 設定ユーティリティーで設定する「アダプタ名」·「ワークグループ名」で使用できる文字は、「アダプタ名」·「ワークグループ名」共に、半角英数字と記号（動作確認がとれている文字は０～９、ａ～ｚ、Ａ～Ｚ、 _となります。その他の記号に関しては、お使いの環境によって異なります。）で最大 11 文字まで使用できます。

■接続関連

Q. 本製品に接続した USB 機器にアクセスできない

A. 本製品と USB 機器は正しく接続されていますか？
本製品とUSBケーブルで接続する機器が、正しく接続されているか確認してください。本製品の電源が入っている状態で本製品のUSB LEDが緑色に点灯していれば正しく接続されています。

A. USB ハブ経由で接続していませんか？
本製品は USB ハブを経由した接続には対応しておりません。本体の USB ポート 1 つにつき、かならず 1 つの USB 機器をつなげて使用してください。

Q. 本製品に対応する USB 機器が知りたい

A. 本製品は汎用ストレージのドライバを標準で組み込んでおりますので、機器固有のドライバを必要とする機器はご使用になれません。また、書き込み時にソフトウェアが必要なCD-R ドライブやDVD-R ドライブ、Webカメラを始めとする記憶装置以外の製品もご使用になれません。

本製品でご使用いただけるフォーマットは、FAT16 / FAT32 となります。

Q. 本製品に接続したUSB機器のアクセス権を変更したい

A. 申し訳ありませんが、アクセス権の変更はできません。
ご使用する際のアクセス権は、ネットワーク上のすべてのユーザーが読み出し/書き込みが可能なフルアクセスとなります。

Q.USB機器を取りはずしたい

A. 次の手順でUSB機器を取りはずしてください。

1 本製品に接続しているUSB機器に、ネットワーク上のパソコンから、アクセスがないことを確認してください。
2 手順1でアクセスがないことを確認した後、本体前面のUSB LEDが赤く点滅するまで本製品背面のUnmountスイッチを押します。
3 USB LEDが消灯したら、接続したすべてのUSB機器を安全に取りはずせます。

注意
・USB機器へのアクセス中に電源を切ったり、USB機器を取りはずした場合、データの破壊など、予期しないトラブルの原因となりますのでご注意ください。
・USB機器を再認識させるには、本製品の電源を一度切ってから再投入するか、USBケーブルをもう一度差し込んで認識させてください。

Q.FTPで接続できない

A. FTP Server機能はONになっていますか？
本製品の工場出荷時の状態では、FTP Serverの機能はOFFになっています。「PART4 設定ユーティリティーの詳細」「設定変更」(P.28) をご覧いただき、FTP Serverの［開始］をクリックし、機能をONにしてください。

A. FTPアドレスが間違っていませんか？
FTPアドレスは本製品のIPアドレスになります。DHCPをお使いの方は、本製品にアクセスしてIPアドレスを確認してからアクセスしてください。なお、本製品のFTP機能はInternet Explorerではアクセスできません。FTPクライアントソフトをお使いください。

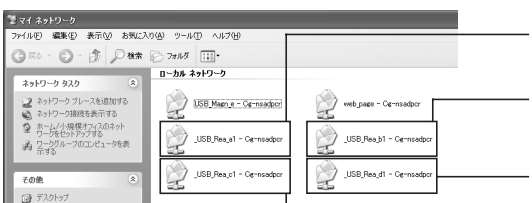
■メモリーカード関連

Q. 複数のメモリーカードを同時に使用したい

A. 本製品は４種類のメモリーカードを同時に使用することが可能です。
２つ以上のメモリーカードをスロットに挿した場合、ネットワークドライブ名での各メモリーカードスロットの認識方法は次のとおりです。

図の例では「_USB_Rea_a1 - Cg-nsadpcr」の「_a1」の部分のアルファベットが「_b1」・「_c1」・「_d1」のように変わっています。このアルファベット部分でメモリーカードスロットの種類を見分けることができます。

アルファベット名	メモリーカードスロット名
a	コンパクトフラッシュ / マイクロドライブスロット
b	スマートメディアスロット
c	SD カード / マルチメディアカードスロット
d	メモリースティックスロット



「_a1」となっているので、これはコンパクトフラッシュ/マイクロドライブスロットです。

「_b1」となっているので、これはスマートメディアスロットです。

「_d1」となっているので、これはメモリースティックスロットです。

「_c1」となっているので、これはSDカード/マルチメディアカードスロットです。

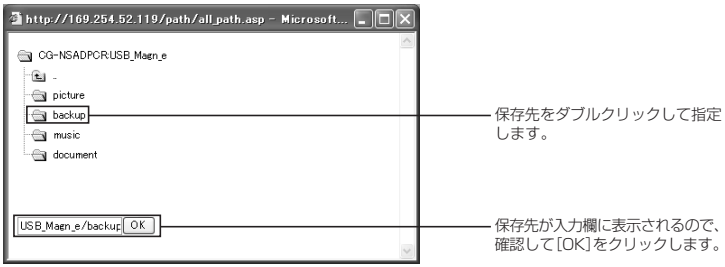
Q. バックアップするデータの保存先を変更したい

A. バックアップの保存先を変更するには、設定ユーティリティーを使って変更します。

注意 本製品のUSBポートに記憶装置が接続されていない場合、バックアップを行うことはできません。

1. 設定ユーティリティーにアクセスします。設定ユーティリティーへのアクセス方法は、「PART2 CG-NSADPCR をパソコンに接続する」「設定アイコンにアクセスする」（P.13）をご覧ください。
2. 設定ユーティリティーの「設定変更」をクリックします。
3. 「カードリーダバックアップ」の入力欄に保存先を直接指定するか、［参照］をクリックすると図のようなウィンドウが開きますので、保存先を指定して［OK］をクリックします。

例では「USB_Magn_e」というネットワークドライブの「backup」というフォルダを保存先に指定しています。



4 「設定変更」画面に戻るので、「カードリーダバックアップ」の入力欄に入力されている保存先を再度確認し、［適用］をクリックします。

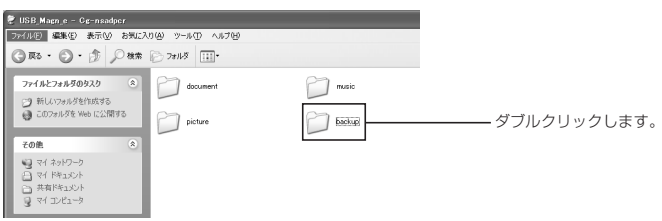
5 これでバックアップの保存先が変更されました。

メモ　バックアップボタンを使ったバックアップの手順は「PART3 CG-NSADPCR を使用する」「メモリーカードのバックアップをとる」（P.26）をご覧ください。

Q. バックアップの保存先に知らない名称のフォルダがある

A. バックアップしたデータの保存先にはフォルダが自動生成され、その中にバックアップデータが保存されます。図の例では、「Q.バックアップするデータの保存先を変更したい」の例を使用して解説します。

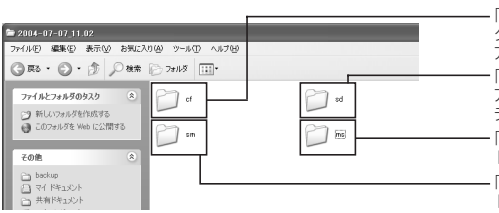
1 バックアップデータの保存先にアクセスします。例では、ネットワークドライブ名「USB_Magn_e」の「backup」フォルダが保存先に指定されています。



2 保存先を開くとフォルダが自動生成されています。フォルダ名の「2004-07-07-_11.02」はバックアップした日付と時刻が自動で入力され、このフォルダ名は「2004年の7月7日の11時2分」にバックアップしたものという意味になります。

3 「2004-07-07-_11.02」フォルダを開くと、さらに自動生成されたフォルダがあります。フォルダ名の意味は次の通りとおりです。

フォルダ名	意味
cf	コンパクトフラッシュ / マイクロドライブスロットのバックアップデータ
sm	スマートメディアスロットのバックアップデータ
sd	SD カード / マルチメディアカードスロットのバックアップデータ
ms	メモリースティックスロットのバックアップデータ



4 バックアップをとったメモリーカードの名前のフォルダを開くと、バックアップデータにアクセスできます。

Q. メモリースティック PRO や miniSD カードには対応していますか？

A. 対応しているメモリーカードについては「PART1 CG-NSADPCRのご紹介」「各部の名称と機能」（P.7）をご覧ください。

■その他

Q. 日付と時刻を合わせたい

A. 設定ユーティリティーからはご利用いただけません。
本製品の日付と時刻の設定方法は、本製品を最初に設定したパソコンから日付と時刻を自動で取得します。

Q. ファームウェアの更新に失敗した

A. 一度工場出荷時の状態に戻してから更新作業を行ってください。
製品を工場出荷時の状態に戻す方法は、「PART4 設定ユーティリティーの詳細」「メンテナンス」（P.29）をご覧ください。

Q. 本製品を工場出荷時の状態に戻したい

A. 「PART4 設定ユーティリティーの詳細」「メンテナンス」（P.29）をご覧ください。
本製品を工場出荷時の状態に戻すことができます。初期化を実行すると今まで設定していた情報がすべて無効になりますので、再度設定をし直す必要があります。また、重要な設定をしている場合は、後で再設定できるように設定を控えておくことをおすすめします。

■CG-NSADPCR製品仕様

LAN仕様	
サポート規格	IEEE 802.3(10BASE-T) / IEEE802.3u(100BASE-TX)
インターフェイス	
コネクター	RJ-45×1
規　格	10BASE-T/100BASE-TX　Full Duplex/Half Duplex オートネゴシエーション
MDI/MDI-X切換	自動認識
USB仕様	
コネクター	シリーズAポート×2
規格	USB1.1/2.0
カードリーダ仕様	
スロット数	4
対応メディア	
コンパクトフラッシュ/ マイクロドライブスロット	コンパクトフラッシュ typeⅠ・typeⅡ/ マイクロドライブ
スマートメディアスロット	スマートメディア
SDカード/マルチメディア カードスロット	SDカード/マルチメディアカード/ miniSDカード(アダプタ装着時)
メモリースティック スロット	メモリースティック/メモリースティックDuo(アダプタ装着時)/ メモリースティックPRO
電源部	
本体	
定格入力電力	DC 5V
最大消費電流/電力	1.84A / 9.2W
ACアダプター	
定格電圧 (入力/出力)	AC 100V (50/60Hz) / DC 5V
その他仕様	
対応パソコン	DOS/V、PC98-NXシリーズ
対応OS	Windows XP/2000/Me/98SE
対応フォーマット	FAT16/FAT32
対応ブラウザ	Internet Explorer 6.0以降
動作時温度/湿度	0～40℃/90%以下(結露なきこと)
保管時温度/湿度	−20～50℃/95%以下(結露なきこと)
外形寸法(本体のみ)	32(W)×115(D)×156(H)mm (突起部含まず)
質量(本体のみ)	240g

※SDカードの著作権保護機能、メモリースティックおよびメモリースティックPROのマジックゲート機能、ID付スマートメディアのID機能には対応しておりません。

■CG-NSADPCR出荷時設定

アダプタ名	CG-NSADPCR
ワークグループ名	workgroup
DHCP(自動取得)	有効
IPアドレス	(DHCPサーバから取得)
FTP Serverの状態	停止
FTP Serverの設定	anonymous FTP(変更不可) ユーザー名(ID):anonymous パスワード:なし

保証と修理について

■保証について

別紙の「製品保証規定」を必ずお読みになり、本製品を正しくご使用ください。無条件で本製品を保証するということではありません。正しい使用方法で使用した場合のみ、保証の対象となります。本製品の保証期間については、保証書に記載されている保証期間をご覧ください。

■修理について

故障と思われる現象が生じた場合は、まず取扱説明書を参照して、設定や接続が正しく行われているかを確認してください。現象が改善されない場合は、弊社ホームページに掲載されている「修理依頼用紙」をプリントアウトの上必要事項を記入したものと製品保証書および購入日の証明できるもののコピー(レシート等可)を添付し、製品(添付品一式と供に)をご購入された販売店へお持ちください。修理をご依頼する際は、以下の点にご注意ください。

※弊社へのお持ち込みによる修理は受け付けておりません。

- 修理期間中の代替機等は弊社では用意しておりませんので、あらかじめご了承ください。
- 保証書に販売店の押印がない場合は、保証期間内であっても有償修理になる場合があります。
- 製品購入日の証明ができない場合、無償修理の対象となりませんのでご注意ください。
- 修理依頼時の運送中の故障や事故に関しては、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

■有償修理について

有償修理の場合は、ご購入の販売店へお持ちください。下記ホームページに有償修理価格が記載されておりますのご覧ください。

http://www.corega.co.jp/repair/

おことわり

・本書は、株式会社コレガが作成したもので、全ての権利を弊社が保有しています。弊社に無断で本書の一部または全部をコピーすることを禁じます。
・予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがありますがご了承ください。
・改良のため製品の仕様を予告なく変更することがありますがご了承ください。
・本製品の仕様またはそのご使用により発生した損害については、いかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

©2004 株式会社コレガ

coregaは、株式会社コレガの登録商標です。
Windowsは、米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
コンパクトフラッシュ(CompactFlash™)は、米国SanDisk社の規格および登録商標です。
Microdrive®は、Hitachi Global Storage Technologiesの登録商標です。
メモリースティック、メモリースティックPRO、メモリースティックDuo、メモリースティックPROデュオは、ソニー株式会社の商標です。
スマートメディアは、株式会社東芝の商標です
SDメモリーカードは松下電器産業株式会社、米国サンディスク社、株式会社東芝の商標です。
miniSD™は、SDアソシエーションの登録商標です。
SDカードロゴは登録商標です。
MultiMediaCard™は、独Infineon Technologies AGの登録商標です。
その他、この文書に掲載しているソフトウェアおよび周辺機器の名称は各メーカーの商標または登録商標です。

2004年7月 初版

【弊社ホームページのご案内】

弊社ホームページでは、各種商品の最新の情報、最新ファームウェア、よくあるお問い合わせなどを提供しています。本製品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをお勧めします。

http://www.corega.co.jp/

【製品に関するご質問は…】

製品のご質問はコレガサポートセンターまでお問い合わせください。お問い合わせの際には弊社ホームページ掲載の「お問い合わせ用紙」または下記の必要事項をご記入いただいた書面を用意して、メール、FAX、電話でのいずれかでお問い合わせください。

■お問い合わせ先

〈corega　サポートセンター〉

Mail サポート:下記 URL からユーザー登録をした後、お問い合わせをしてください。

http://www.corega.co.jp/faq

TEL.03-3797-1085

FAX.045-476-6294

〈受付時間〉

10:00 ～ 12:00、13:00 ～ 18:00　月～金（祝・祭日を除く）

■必要事項

あらかじめ下記の必要事項を控えておいてください。

・製品名
・シリアル番号（S/N）、リビジョンコード（Rev.）
・お名前、フリガナ
・連絡先電話番号、FAX 番号
・購入店
・購入日付
・お使いのパソコンの機種
・OS
・お問い合わせ内容（できる限り詳しくお知らせください）
・ネットワーク構成